

研修報告

(湯浅 正志)

<研修目的>

- ・農林水産省農村振興局
農地整備をめぐる事情について
- ・総務省自治財政局交付税課
普通交付税について
- ・国土交通省道路局企画課
道路整備の重要性につて
- ・東日本税理士法人
病院改革と独立行政法人化について

<研修概要一覧>

視察月日	研修先	視察施設	研修内容
令和8年 2月17日 (火)	農林水産省農村振興局	参議院議員会館 会議室	農村整備の実績と現状から、今後の課題と展開方向について 農業農村整備事業関係予算の概要について
令和8年 2月18日 (水) AM	総務省自治財政局 交付税課	参議院議員会館 会議室	普通交付税の概要について 普通交付税算定方法の改正について
令和8年 2月18日 (水) PM	国土交通省道路局 企画課	参議院議員会館 会議室	安来市内の国土交通省事業 (スマートインターチェンジ 他) について 中海・宍道湖8の字ネットワークについて
令和8年 2月19日 (木)	東京都新宿区 東日本税理士事務所	—	酒田市病院機構の先進事例について 大月市立中央病院の先進事例について

<研修概要報告>

1. 農地整備をめぐる事情

- 対応者：農林水産省農村振興局担当者

- 概要：農林水産省農村振興局担当者より、農村整備の実績と現状から今後の課題と展開方向について及び農業農村整備事業関係予算の概要について資料を基に研修を受ける。

<考察 1>

農地整備の整備状況は、全国 234 万 ha の水田のうち、30a 程度以上の区画に整備された面積は 160 万 ha で水田全体の 69%、50a 以上の区画に整備された面積は 29 万 ha(12%)と着実に整備が進められ、農業基本法が制定された昭和 36 年度から時代のニーズに応じた農地整備事業が展開されて来た。これまでの事業による効果から収益の向上、労働時間の低減担い手への農地集積が着実に行われ、換地による非農用地を確保し他事業との調整による土地利用の秩序化と地元負担軽減を図ることも出来る農地整備事業となっている。これに伴い、農作業の効率化から高収益作物への転換が進み生産された農産物を加工する 6 次産業化等へ繋げることも可能となっている。

一方で、今後農業者の急減が見込まれる中で生産コスト低減とスマート農業等の取組みを進め、担い手の確保へと繋げて行かなければならない事を実感した。

次に、令和 8 年度農業農村整備事業関係予算概要では、これまでの生産向上に向けた取組から課題に対する講ずべき施策の重要性について説明を受け、大区画整備に支障を及ぼす所有者不明農地に対する対策を令和 8 年度から拡充される事項についても確認する事ができた。

安来市でも農業農村整備事業は進行中であることから、農林水産省農村振興局の考え方が伺えた事は大変に参考となった。



2. 普通交付税全般について

- 対応者：総務省自治財政局交付税課担当者

- 概要：総務省自治財政局交付税課担当者より、普通交付税の概要について及び普通交付税算定方法の改正について資料を基に研修を受ける。

<考察 2>

普通交付税の概要と言うテーマで、先ず地方交付税は国税五税の一定割合が地方団体に法律上当然帰属するという意味において、地方の固有財産であることを理解し、普通交付税の算定方法を算定項目と測定単位の内訳、標準団体設定の意義を研修し、基準財政収入額の算定理論から最終的に地方税の増減と交付税の関係性の説明を受けた。

次に、令和8年度普通交付税の算定方法の改正について説明をうけ、物価高対応による単位費用措置の引き上げ・行革努力分にラスパイレス指数及び経常的経費削減率等を用いた算定の廃止等改正ポイントを詳しく説明を受けた。

今後、安来市の予算・決算資料を読み込む参考となる。



3. 道路整備の重要性について

- 対応者：国土交通省道路局企画課担当者
- 概要：国土交通省道路局企画課担当者より、安来市内の国土交通省事業（スマートインターチェンジ他）について中海・宍道湖8の字ネットワークについて資料を基に研修を受ける。

<考察 3>

前段で令和7年度補正・令和8年度当初予算状況（国費）の国土交通省分を含めた内訳説明から、道路関係予算の推移と令和8年度の道路関係予算を総括表にて説明を受けた。

その後、安来市に関連する中国地方整備局の当初予算について、H27からR7までの予算推移を基に3か年緊急対策から5か年加速化対策へ移行して行く予算措置が組まれている事を理解した。

次に、安来市に関連する事業の説明があり、安来道路（米子西 IC～安来 IC）の状況、スマートインターチェンジ整備の整備効果による産業活性化とアクセス性向上によるまちづくりの支援に期待されている状況、国道 9 号陰田町交差点改良については令和 5 年度から事業推進中であること、交通安全事業である御茶屋川交差点改良・門生歩道整備事業の実施状況を詳しく説明を受けた。

最後に、中海・宍道湖 8 の字ネットワークの説明では、（他圏域との比較）（圏域の状況）（産業）（観光）（医療）（防災）の観点から道路網の整備が山陰地方の発展を索引するポテンシャルを秘め、産業や地域が連携することで医療・防災においても更なる発展を期待されていることから、国土交通省も力を入れて頂いていることに感謝をした。



4. 病院改革と独立行政法人化について

●対応者：公認会計士 長 隆

総務省地方公営企業等経営アドバイザー 栗谷義樹（WEB 参加）

総務省地方公営企業等経営アドバイザー 夏苺千晶

●概 要：酒田市病院機構の先進事例については栗谷義樹氏、大月市立中央病院の先進地事例について夏苺千晶氏より資料を基に研修を受ける。

< 考 察 4 >

長事務所では、安来市立病院が地方独立法人化を進める事を踏まえ、2名の講師から先進事例について研修を受けた。地方の病院で抱える背景はどこもほぼ同様である。医師不足・経営悪化・そして施設の老朽化という中ではあるが、持続可能な地域医療の提供体制を確保するためには今が変革の時であり、其のためにも市議会の役割を整理し、議会として押さえるべきポイントを明確にすることが必要である。最終的には議会は「直接関与型」から「戦略統制型」へ本質的役割を変えて行かなければならない事を理解しやすく説

明頂き、我々もこれからが正念場となることが理解できた。団塊の世代全員が後期高齢者となった今、10～15年にはその世代が激減する事を前提に医療体制を速く整える必要性を痛感した。

